

# 心 と 心

## 第37号

親と子の 対話がつくる よい家庭  
**青少年育成塩竈市民会議**

毎月第3日曜日は  
**家庭の日**



平成22年度「家庭の日」絵画優秀作品



ごあいさつ

青少年育成塩竈市民会議  
 会長 菅原周一

平成23年3月11日午後2時46分、マグニチュード9.0大地震発生、高さ14mの大津波、そして原発事故、私たちは1000年に1度といわれる歴史的な大災害に遭遇、悪夢としか言いようのない現実と直面しました。

「早く逃げろー、逃げろー、早く、早く」という絶叫をよそに牙を剥き出しにした黒い津波は家も、車も、人の命も容赦なくすべてのものを飲み込みました。放映される映像は決して現実のものとは受け入れ難い目を覆う地獄絵図と化しました。心は、ボロボロ、仕事も手につかない日々が続きました。

あれから1年、被害者から心のぬくもりを教えられました。あの苛酷な経験をした被災者が人々に心のぬくもりを分け与えてくれたのです。

- 悲しみを知り、悲しみを分かち合う心
- 嘆きを知り、嘆きを分かち合う心
- 足らざるを知り、足らざるを分かち合う心
- 愛し、愛されることの喜び
- 感謝し、感謝されることの喜び
- 信頼し、信頼されることの喜び

世の不公平、不合理、日常の怒りゆえに、私たちが時に失いかけていた寛容の心を思い出させてくれました。人の痛みをわが痛みとし、苛酷な運命との遭遇にもかかわらず、生きていることの尊さ、共に生きることの喜びを教えてくださいました。九死に一生を得た人々は瓦礫をかき分け、父母を探し、子の名を必死になって叫んでいました。ボランティアも日本各地、世界各地から駆け付けてくれました。駆け付けてくれた人々は各人各様にその悲惨な状況を言葉にしていました。分けてもある自衛官

が瓦礫の下から幼子の亡骸を発見した時、「この子がわが子と重なって…」と言って、声を震わせ絶句した映像が目には焼き付いて離れません。

3・11東日本大震災を自然の摂理と言うには余りにもすさまじい光景であり、その現実をしばらく受け入れることはできませんでしたが、日が経つにつれ被害者は負けてたまるか、と手を結び心一つにして復旧に立ち上がりました。老若男女ともに、「わが街、この街を元のにぎわいのある街、幸せな街にするぞ」と決意も新たに、復旧の槌音が、被災地に高く響きわたるようになりました。

さて、昨年を振り返ると、東日本大震災、タイの大洪水、フィリピンの台風被害、ニュージーランドの大地震と、自然災害が猛威をふるった1年でした。科学的な実態数値には疎いが、地球規模で気温が上昇し季節感がなくなり、地球の生命を脅かすような大災害が増えています。季節外れに花が咲き、初冬というのに、銀杏にいたっては、紅葉を忘れ緑の葉を付け青々と茂っています。「自然は、一体どうなっているのだろう」と思いながら人々は、自然の営みの変化を体感しています。

これは、ひょっとして、人間に本来備わっている動物的な生得的感知能力をして、地球上のあらゆる生命が迫り来る危険にさらされていると予知し、人類の総意として、警告を発しているのではないのでしょうか。ナマズは地震を予知すると言いますが、人類もまた迫り来る大きな自然災害を感知しているのではないのでしょうか、とはなはだ非科学的な見解にいたることもあります。

長々と饒舌を弄しましたが、私は健全な青少年育成のために子どもの頃から「心のぬくもり」や「生きる喜び」、「足らざるを分かち合う心」など教え伝え、そして、強いリーダーシップをもった将来の地域の指導者を育てたいと思います。

最後に、日頃市民の皆様から多大なるご支援・ご協力を賜り心から深く感謝を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさつにかえさせていただきます。

### 青少年健全育成のためにあなたのご協力を!!

青少年育成塩竈市民会議は、青少年育成関係団体及び青少年の育成に賛同する皆様により、昭和54年に設立された社会教育団体であり、県内では3番目に発足しました。

私たちの活動の趣旨をご理解いただき、ぜひ会員としてご支援をお願いします！

#### 【正会員・賛助会員】

青少年育成関係機関・団体・個人  
 年会費 3,000円

☆申込は、随時お受けしておりますので、事務局までご連絡ください。

【事務局】 塩竈市青少年相談センター ☎364-7445

# 平成23年度主要事業

## ● 青少年育成塩竈市民会議総会

5月24日(火)震災後の大変な中、塩竈市本町分室大講堂にてご来賓と加盟団体の皆様にご出席をいただき、無事開催することができました。開始前に1分間の黙とうを行い震災で亡くなられた方々へのご冥福をお祈りしました。総会終了後、塩釜警察署長芳賀雄樹様より「少年非行の実態とその対策について」の講話がありました。罪悪感の欠如からの万引き、ネットによる性被害など青少年を取り巻く環境が、影響していること。警察でも青少年を継続して見守っていくが、地域や保護者にもお願いしたい。震災で、全国の警察の支援をいただき大変ありがたかったこと、等のお話がありました。



講話 塩釜警察署長 芳賀雄樹様

## ● 青少年健全育成塩竈市民のつどい



講演会 秋田敦子様

11月10日(木)塩竈市公民館において、市民のつどいを開催しました。内形副市長、嶺岸市議会議長をはじめ多数のご来賓、市民及び加盟団体等115名の皆様にご参加をいただきました。会長のあいさつに続いて、表彰式があり、県民会議功労者として相澤登美子さん、市民会議役員表彰として鈴木勝雄さん、佐々木和恵さんが、表彰されました。

「少年の主張」の発表では、塩竈市大会で最優秀賞を受賞した第二中学校の片倉絵理さんが、震災でのボランティアの経験を通して人と人とのつながり、絆の大切さを実感したこと。将来、母のように人に役立つ仕事につきたい等、素晴らしい発表でした。堂々とした態度で聴衆にさわやかな感動を与えました。

続いて、社会福祉法人わたげ福祉会理事長秋田敦子様より「若者の心を知る」～ひきこもり・ニート支援を通して～の講演がありました。音楽療法ボランティアの経験を生かして、現在若者のフリースペース「わたげ」を開設。生きるエネルギーが足りない子供にとって、家庭での安心した雰囲気づくりや地域での呼びかけが、子供の心の変化につながる。改めて昔の地域社会の大切さを痛感するお話をいただきました。和やかな雰囲気の講演会でした。つどい終了後、薬物根絶「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金のご協力をいただきました。



## ● 青少年健全育成啓発活動

11月の「子ども・若者育成支援強調月間」にともない11月1日(火)「親と子の対話がつくるよい家庭」のスローガン入りのティッシュを本塩釜駅、イオンタウン前で配布しました。青少年健全育成のためにも家庭での会話の大切さを訴え道行く方々に啓発活動を行いました。



## ● 第32回『少年の主張塩竈市大会』

### 発表者



6月22日(水)第一中学校にて開催いたしました。市内中学校代表5名が、震災体験や日頃思っている事、部活動について力強く発表しました。一中の生徒さんも真剣に耳を傾け、震災後、心に残る大会となりました。最優秀賞には、第二中学校の片倉絵理さんが選ばれました。片倉さんは、7月5日(火)利府町立しらかし台中学校で開催された仙台地区大会に出場し優良賞を受賞しました。



「避難所での経験」

浦戸中学校2年 内海 実夢さん



「今、私にできること」

第一中学校2年 小林 南海さん



「ありがとう」

第二中学校3年 片倉 絵理さん



「仕合わせ」

第三中学校3年 小野寺麻実さん



「向きあうこと」

玉川中学校3年 菊地 智美さん

### 最優秀賞「ありがとう」

### 塩竈市立第二中学校3年 片倉 絵理

私には、姉と二つ下の弟がいます。私たち三人を育ててくれている母は、ケアマネージャーをしていて、あまり休みもなく忙しい毎日を送っています。

弟は、私がまだ幼い頃、数万人に一人という難病にかかりました。それは、一生治ることはなく、有効な治療法もまだ見つかりません。

弟が、入院する度に、仕事の合間をぬっては面会に行き、夜は病院で寝泊まり。通院の際には仕事を休み、その遅れを取り戻すために夜遅くまで働く。そんな母の姿をいつも見ていた私は、いつの間にか母を手伝うようになっていました。家事や弟の荷物の整理をしたり、「自分のことで迷惑をかけたくない。」という思いから、身の回りのできる限りのことをしようと頑張っていたつもりでした。

しかし、生活は弟を中心に回っていて、旅行でも行きたい所に行けなかったり、他の友達と比べると我慢しなければならないことが多く、自分の感情を抑えきれず家族にあたったりすることがありました。

「自分のやっていることに意味はあるのか？どうせ自分が頑張ったって変わらない。」と考えたりする自分につらくなったりもしました。

ちょうどその時期、学年行事で「親子で手紙を交換する」というものがありました。母からももらった手紙には、「小さい頃からよく手伝ってくれてすごく助かっています。これからも頼りにしてるからね。そして、いつもありがとう。」それを読んだ時、涙があふれると同時に嬉しくてたまりませんでした。「頑張ってきたことに意味はあった！」と。

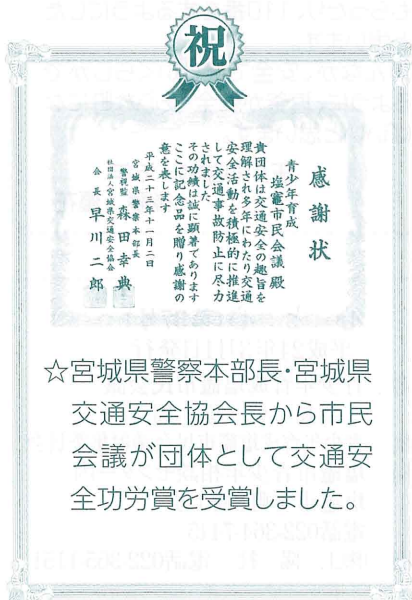
今回の震災では、私の家族は避難生活を強いられました。その中でも、母は、昼夜問わず担当している利用者さんたちのために仕事に出かけて行きました。こんな時だから、なおさら必要とされていた。どんな時も自分より人を優先しようとする母。その姿からは強い信念さえ感じられます。

福祉の仕事は、人の命を預かるものでもあります。助けられた時の喜びや安堵感、亡くなられた時の悲しみや無念さは特別だと思います。でも、その思いは、その人のために行動したからこそ生まれるもの。もし何もしなければ、何も生まれないはずです。

私は母を尊敬します。自分も「人の役に立てることをしたい。人と人の心をつなぐ仕事をしたい。」という気持ちがあります。でも、福祉の仕事をするかは迷っていました。なぜなら、私にはまだ人の命を預かる自信がないからです。でも、やはり母の後ろ姿を追っているのかもしれない。

震災では、私もボランティアに参加し、避難所での配膳や支援物資の整理、清掃など、少しでも避難している人の役に立てたらという一心で活動しました。中には、津波の被害を受け、住む家を失くしてしまった人もいて、避難が長引くにつれ疲れ切った表情を浮かべていたように思います。それでも、私が物資を差し出すと、必ず「ありがとう」という言葉が返ってきました。

人と人とのつながり、絆の大切さを実感した今、はっきり言えます。私も福祉の道を目指そう。「ありがとう」の声が嬉しいから。



### \* 塩竈市民会議加盟団体・賛助会員名 \*

- 塩竈市社会福祉協議会
- 塩竈市民生委員児童委員協議会
- 塩竈市保護司会
- 塩竈市更生保護女性会
- 塩竈市婦人会
- 塩竈市体育協会
- 塩竈市父母教師会連合会
- 塩竈市子ども会育成連合会
- 塩竈ロータリークラブ
- 塩竈東ロータリークラブ
- 塩竈ライオンズクラブ
- 塩竈中央ライオンズクラブ
- 塩竈市東部防犯協会
- 塩竈市西部防犯協会
- 塩竈市南部防犯協会
- 塩竈市北部防犯協会
- 塩竈市浦戸防犯協会
- 塩竈市校長会
- 生徒指導主任主事会
- 塩竈市少年補導員協会
- 塩竈市北部地区町内会連合会
- ボーイスカウト塩竈第1団
- ボーイスカウト塩竈第3団
- ボーイスカウト塩竈第4団
- ガールスカウト宮城第19団
- 第一小学校父母教師会
- 第二小学校父母教師会
- 第三小学校父母教師会
- 月見ヶ丘小学校父母教師会
- 杉の入小学校父母教師会
- 玉川小学校父母教師会
- 浦戸小・中学校父母教師会
- 第一中学校父母教師会
- 第二中学校父母教師会
- 第三中学校父母教師会
- 玉川中学校父母教師会
- 塩竈市交通安全母の会
- 塩竈市交通安全指導隊
- 塩竈地区交通安全協会塩竈西部支部
- 塩竈地区交通安全協会塩竈南部支部
- 塩竈地区交通安全協会塩竈北部支部
- 塩竈商工会議所女性会
- 塩竈青年会議所
- 塩竈神社氏子青年会
- 塩竈モラロジー事務所
- 少林寺拳法連盟宮城塩竈支部
- 箏曲教室小藪社中
- 塩竈文具事務用品組合
- (株)白寿殿
- 宮城県社交飲食業生活衛生同業組合
- 塩竈支部

# 子どもの安全は地域で守りましょう

〈平成23年度県民総ぐるみ運動メッセージより〉

近年、子どもや女性を狙った凶悪な犯罪が後を絶ちません。また、知らない人から「声をかけられる」、「写真を撮られる」、「つきまとわれる」など、それだけでは犯罪になりにくいものの、誘拐や強制わいせつなどの事件に発展しかねない事案も数多く発生しています。

しかし、家庭での安全教育や地域での見守りによって事件を防げる場合も数多くあります。

危険な場所  
(二つのキーワード)

「入りやすい場所」(誰でも入りやすい場所は、犯罪者も入りやすく、逃げやすい)

「見えにくい場所」(周りから見えないところは、犯罪者が隠れていてもわからないし、悪いことをしても見つからない)

また、落書きがあつたり、ゴミが散乱しているところは、管理されていない、関心を持たれない、犯罪者にとって「入りやすく見えにくい場所」となり、犯罪が起きやすい場所になります。

## 子どもを犯罪から守るためには…

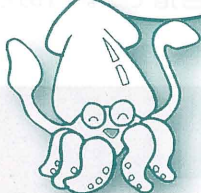
地域では

地域の環境美化やふだんからのコミュニケーションが犯罪を防止します。「地域の絆」、地域に行き届いた「人目」を大切にしましょう。

家庭では

親子で地域の危険箇所を確認して、地域安全マップづくりをしてみましょう。子どもがどのような場所(景色)が危険であるかを確認し、注意していくことにより、他の地域でも危険な場所が分かるようになります。

教えましょう



## 「いかのおすし」

知らない人について **い**か 知らない人の車に **の**らない

**お**おごえでさげば こわくなったらその場から **す**ぐに逃げる

何かあったら大人の人に **し**らせる

青少年健全育成

地域の子は

塩竈市

## 地域の子どもたちを守るために!

### 安全サポーター活動

平成16年から第三小学校前の国道で、毎朝安全サポーターをしています。「おはようございます」の挨拶とハイタッチ。握手及びジャンケンなど約1時間、子どもたちのパワーをもらいながら、楽しく見守りをしています。

私達の活動が、子どもたちの明るい未来に役立つようお願いしております。皆様のご支援とご協力をお願い致します。

三小安全サポーター  
小林 香志郎

### 防犯活動

北部防犯協会の活動の一つに婦人部中心の「声掛け運動」があります。今年度は10月14日、第二小学校と杉の入小学校の近くの交差点で、下校途中の子どもたちに挨拶をし、「不審者に注意して家に帰るように」と声かけをしました。子どもたちから、元気な挨拶や返事が返ってくるのが楽しみな活動です。

また、防犯協会の多数の会員が安全サポーターとして活動しています。

北部防犯協会  
鈴木 惣之助

### 私達も気をつけます!

道路をわたる時は、左右を見て車に気を付けてわたります。飛び出しは、しません。

また、不審者にあつたり、見かけたりしたら、すぐに近くの家に入って助けをもらったり、110番をするようにしたいと思います。

みんなが、安全で楽しいくらしができるように、塩竈が安全・安心な町になればいいと思います。

玉川小学校 6年  
後藤 優花

## 編集後記

今年も機関紙「心と心」第37号を発行することができました。これも偏に青少年健全育成に賛同くださる皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

あの3月11日の震災でライフラインが止まり、市内各学校は避難所となり、先の見えない不安な日々が続きました。そんな中、「少年の主張塩竈市大会」が実施され、中学生の元気で、前向きな意見に励まされました。次代を担うこの子どもたちのために、明るい地域社会であり続けられますよう今後ともより一層の皆様方のご支援、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。編集後記といたします。

編集委員 池田

## 心 と 心(第37号)

平成24年3月1日発行

発行者 青少年育成塩竈市民会議  
会長 菅原 周一

編集事務局 青少年育成塩竈市民会議編集委員会  
塩竈市青少年相談センター内  
塩竈市本町8番1号  
電話022-364-7445

印刷 (株)工陽社 電話022-365-1151